

九州初上映！谷進一監督2作品

「卒業」  
～スタートライン～

# 第52回耳の日集会 in 大村

昭和40年ろう学校で  
実際に授業拒否事件  
その後の3・3声明に  
繋がる映画『卒業』  
～スタートライン～

とき:2023年 3月5日(日)  
ところ:シーハットおおむら  
さくらホール

手話教育の父  
高橋潔先生の生涯  
『ヒゲの校長』

### 上映時間

「卒業」～スタートライン～

受付 9:30

開演 10:00

ヒゲの校長

受付 13:30

開演 14:00

### 入場料

《2作品セット》

高校生以上 2000円

小中学生 1000円

《1作品》

高校生以上 1300円

小中学生 500円



主催：一般社団法人長崎県ろうあ協会

主管：一般社団法人長崎県ろうあ協会大村支部

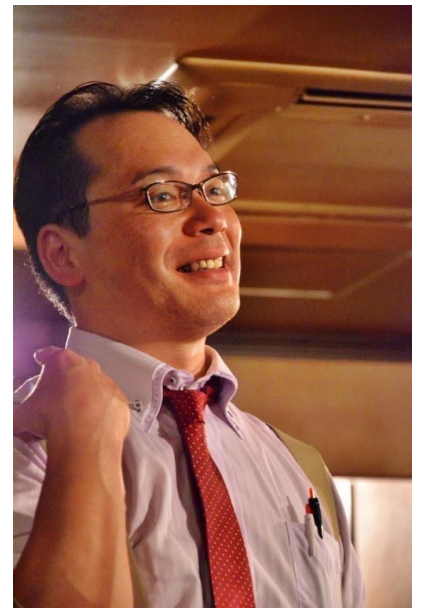
協力：長崎県手話通訳士協会・全国手話通訳者問題研究会長崎支部・長崎県手話サークル連絡協議会



# 第52回耳の日集会 in 大村九州初上映！谷監督作品 「卒業～スタートライン～」 「ヒゲの校長」



はじめまして！  
京都を拠点に手話映画を撮っている谷進一です。  
この度は、聾宝手話映画の長編2本を選んで下さり、  
誠にありがとうございます。  
どちらの映画も昭和のろう史の中でも重要な事件  
を描いています。今の若い方の中にはこれらの歴史、  
出来事を知らない方が増えています。  
聴こえる、聴こえないに関係なく知って欲しい歴史  
です。多くの方に知ってもらえたら幸いです。  
そして手話がもっともっと拡がります様に！！



『卒業～スタートライン～』今から約五〇年前にあった京都のろう学校の話。

半世紀前のろう教育は、口の動きを見て会話を理解する口話が主流であり、授業が理解できない生徒も多かった。  
「わかる授業をしてほしい」「差別の輪の中にいる私たちは何のために勉強するのか」「先生は僕たちから逃げないでほしい」生徒たちは訴えるが、その都度、先延ばしされる。生徒たちは話し合いを重ね、ついに「授業拒否」という決断をする。  
昭和四〇年十一月、その日、生徒たちは起ちあがった。  
昭和四一年三月三日の「耳の日」に、ろう者への人権尊重や教育の民主的な発展、成人ろう者の社会的地位の向上などを訴える声明へとつながっていくのであった。



『ヒゲの校長』大正三年仙台から大阪へ、青年高橋潔は、恩師の紹介状を持って大阪市立聾啞学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家を目指す夢をあきらめ、失意にあった高橋。そんな彼の目の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、高橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩みだす…。手話やろう者のことを高橋先生に教えるきこえない生徒たち…。しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするためには手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、手話とろう者を守るべく、高橋校長と生徒たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。

## 上映スケジュール

『卒業～スタートライン～』 10：00開演・9：30受付

『ヒゲの校長』 14：00開演・13：30受付

入場料：2作品セット2000円、小中学生1000円

1作品1300円、小中学生500円

※チケットは、県ろう協、または各ろう協支部、サークルにてお求めください。

※新型コロナウイルス感染予防のため、マスク着用や手指消毒にご協力をお願い致します。

※託児はありません。ご了承ください。

※さくらホール内での飲食はできません。



◎車でのご案内 🚗  
大村インターから10分  
木場スマートインターから5分  
会場に駐車場があります。  
◎公共機関のご案内 🚉  
JR 大村駅下車 徒歩20分  
バスはコミセン前停に降車